

● 知っておきたい 保険 のはなし ●

猫劇場

～あの日から7年、未来への備えの点検を！編～



2011年3月11日の東日本大震災から7年になるわね。



そんなに経つんだ…なんだか防災の意識も、時と共に何となく薄れて来ちゃうわね。



そうでしょう？でもそれは仕方のないこと。この機会に、自身の身の回りの備えを点検しないとね。東日本大震災のほかに、熊本県でも2016年の4月14日、マグニチュード6.5の大きな地震があったわよね。この時の被害も、本当に大きかったの。



熊本県って、長野県よりも地震が少ないと言われていたんでしょ？本当に、何が起こるのか全然読めなくなっちゃったわね。怖いにや…。



熊本県で、被災から5ヶ月後の2016年10月にアンケートがとられたの。「被災後の現実」として公開されているわ。今日はその内容と一緒に見ていきましょう。「現実を知る」ことって、とっても大切なよ。



うん！今の自分の備えに関して考えるきっかけにもなるわね。分かつたにや…！

Q1：住宅の再建状況を教えてください

A1：目処が立った

（建て替え・修復・住み替えが終わりそう含む）…28.9%
目処が立たない（検討中・計画未定を含む）…41.6%

Q2：住宅再建の目処が立たない理由は？

A2：資金不足…63.8% 融資が受けられない…16.2%
将来設計が不透明…29.5%

Q3：建て替え・修復・住み替えに要する資金の財源は？

A3：預金等の自己資金…56.7% 地震保険等…48.5%
義援金・公的支援…42.3%

じゅじゅ
寿寿

しっかり者の
お姉さん猫



はっぱ

わがまま、
気まぐれな
妹猫

知つておいたら役に立つ保険の知識。でも、難しくてよく分からぬ…。そんな保険のおはなしを、寿寿とはっぱが分かりやすく解説します。

監修／アストのほけん



被災してから5ヶ月たっても、住む家をどうするか見通しがたてられない人がこんなにいるの…？



そうなの。圧倒的に多い理由が資金不足ね。それはそうよね…住宅再建費用は平均2,500万円といわれている。被災者に支給された義援金は約100万円。被災者生活再建支援金は300万円。合計400万円。



大きな金額だしあがいたいけど、これでお家は建てられないわよね…。



しかも。かかる費用は2,500万円だけじゃないのよ？家財や引っ越し代も、ここにプラスされてきちゃうから。



うわ…そうよね。こんなのって、辛すぎるにや…。



現実を知ったところで。まずはできるところから始めましょう！被害を最小限に抑えるために出来ること、まずは家具の固定。



あ、そういうの知ってる！食器棚の扉ストッパー、ガラスの飛散防止フィルムも有効よ！



よく出来ました♪あとは、地震発生直後のこと。安全に避難するための備えね。枕元に避難用の非常用品を置いたり、ご家族で集合場所や安否確認の方法を話し合ったり。



わあ…非常事態の時のことって、実は何も話せてないわね。



被災後の生活の備えも必要。非常用グッズをまとめたり、クレジットカードや電子マネーは、停電の時には使えないから現金も必要よ。あとはもちろん、地震保険！



あちこちに言いたいのは猫砂！これ用意しとかなきゃだめよ！あ、あともちろん地震保険ね。お金がないと、猫砂も買えないからね…。わあ、なんだか怖くなっちゃった。



皆さんも今一度、身のまわりの備えの確認をお願いします。ご家族とも時間をとって、しっかりと話し合ってみてくださいね。